

第二次清瀬市環境基本計画実行計画実施状況報告(平成30年度)

令和元年度 第1回
清瀬市環境審議会 資料3

全59事業中 達成:44 未達成:7 見直し:8

番号	取組		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
1	省エネルギーに関する情報提供	計画	市報・市HP等による啓発年1回以上	同左	同左	達成	1	市報・HPによる啓発 年1回以上	水と緑の環境課
		実施状況	太陽光発電システムや家庭用燃料電池への補助制度の周知などにより、市民への啓発を行っている。	市報・市HP等による啓発年1回以上	市HP等による啓発				
2	地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進	計画	地球温暖化計画実行計画(事務事業編)策定	推進	同左	達成	2	推進	水と緑の環境課
		実施状況	平成29年度から平成33年度を計画期間とする「清瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定	推進	推進				
3	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定	計画	策定に向けた調査・研究	事務事業編の着実な実行を優先することとし、区域施策編の策定は将来的な課題とすることとした。	—	未達成		計画から削除	水と緑の環境課
		実施状況	事務事業編の策定後に、区域施策編に展開させていくことを検討したが、区域施策編の策定ではなく、事務事業編の着実な実行を優先させとの結論となった	中止	—				
4	低公害車の導入	計画	2台導入	1台導入	1台導入	未達成	3	施策番号を「3」に変更。 電動バイク5台導入	総務課
		実施状況	2台導入	1台導入	導入なし				
5	住宅用太陽光発電等の設置助成	計画	住宅用太陽光発電等の導入 70件 家庭用燃料電池の導入 20件	助成対象機器等の見直し検討(太陽熱等)	見直し適用	見直し		「省エネルギー機器の導入支援」に統合	水と緑の環境課
		実施状況	住宅用太陽光発電等の導入 40件 家庭用燃料電池の導入 23件 両機器の導入 6件	他市の事例等を参考に、補助対象に太陽熱システムを加えることなどについて検討したが、結果として予算化には至らなかった。	住宅用太陽光発電等の導入 33件 家庭用燃料電池の導入 33件 両設備の導入 3件				

番号	取組		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
6	省エネルギー機器の導入	計画	省エネルギーに関する取り組みを市民や事業者にわかりやすくするための情報収集	市報・市HP等で情報提供(年2回)	同左	見直し	4	施策番号を「4」に変更 「省エネルギー機器の導入支援」に変更 現状の補助制度の見直し実施 補助件数60件	水と緑の環境課
		実施状況	他市の事例等を中心に情報収集を実施	未実施	未実施				
7	家庭での省エネとエネルギーのスマート化	計画	日々の省エネ、エネルギー管理システム導入の調査・検討	太陽光等の省エネの取り組みを推進するための情報提供と導入支援の取組み	家庭によるCO2排出量の削減の支援	見直し		「省エネルギー機器の導入支援」に統合	水と緑の環境課
		実施状況	他市の事例等を中心に情報収集を実施	未実施	未実施				
8	ごみ減量、資源化に関する情報提供	計画	市報・市HP等で情報提供(随時)市報特集(年2回)	市報・市HP等で情報提供(随時)市報特集(年2回)	同左	達成	5	施策番号を「5」に変更。 市報・市HP等で情報提供(随時) 市報特集(年1回以上)	ごみ減量推進課
		実施状況	市報(8/15、9/1・15、10/1)にて情報提供、(2/15)にて特集掲載 市HPでは随時情報提供実施	市報・HP・ごみアプリを通じて随時情報提供を実施。2/15号でごみ処理状況の特集を掲載した。	市報・HP・ごみアプリを通じて随時情報提供を実施。2/15号市報でごみ処理状況の特集を掲載した。				
9	1人1日当たりの家庭ごみの排出量	計画	421g	平成29年3月に策定された清瀬市一般廃棄物処理基本計画に基づき目標数値を修正。 平成29年度421g	415g	達成	6	施策番号を「6」に変更。 清瀬市一般廃棄物処理基本計画に基づく目標数値 409g/人・日	ごみ減量推進課
		実施状況	平成28年度実績 426g	419g	413g				
10	広報活動の充実	計画	ごみ分別アプリの普及率向上・PR	ごみ分別アプリの外国語対応の検討	ごみ分別アプリを活用した情報提供の再検討	達成	7	施策番号を「7」に変更。 ごみ分別アプリによる情報提供を継続 ダウンロード累計目標値7,300件	ごみ減量推進課
		実施状況	ごみ分別アプリの普及率向上・PR イベント時の広報展開	ごみ分別アプリの外国語対応として多言語(三ヶ国語)の翻訳を実施した。	ごみ分別アプリによる情報提供を継続				

番号	取組		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
11	資源ごみ回収業者、資源化事業者との連携	計画	排出実態の把握と収集のあり方の検討	分別の徹底・異物の混入除去等による品質の向上	資源化率向上のための調査・研究	達成	8	施策番号を「8」に変更。 資源物排出状況の把握と分別指導	ごみ減量推進課
		実施状況	収集業者と市の連絡会を年3回実施。排出状況報告を受けるとともに、今後のごみ収集のあり方について検討を行った。	イベント時に容器包装プラスチック類、使用済小型家電の分別周知を実施。使用済インクカートリッジの回収実施。	継続して実施				
12	資源化率の向上	計画	22.50%	平成29年3月に策定された清瀬市一般廃棄物処理基本計画に基づき目標数値を上方修正、平成29年度28.8%、平成30年度29.2%	29.20%	未達成	9	施策番号を「9」に変更。 清瀬市一般廃棄物処理基本計画に基づく目標数値 29.4g/人・日	ごみ減量推進課
		実施状況	27.50%	26.90%	26.65%				
13	産業廃棄物の適正処理・不法投棄の防止	計画	許可業者への分別徹底指導、事業系ごみに対する搬入時の監視強化	不適切な事業者に対する搬入規制及び指導の徹底	事業者の先進的な取組みを市報やHPにて普及啓発	達成	10	施策番号を「10」に変更。 事業系廃棄物の減量化や適正処理の情報提供を行う	ごみ減量推進課
		実施状況	一般廃棄物許可業者の許可更新時に廃棄物適正処理の注意喚起を実施	事業系のごみ処理方法をHPにて周知。許可業者の更新手続き時に、ごみ分別・資源化の協力指導実施。	事業系のごみ処理方法をHPにて周知。許可業者の更新手続き時に、ごみ分別・資源化の協力指導実施。				
14	市内河川調査の水質調査	計画	空堀川2カ所、柳瀬川3カ所を月1回調査実施、年1回まとめて公表	空堀川2カ所、柳瀬川3カ所を月1回調査実施、年1回まとめて公表	空堀川2カ所、柳瀬川3カ所を月1回調査実施、年1回まとめて公表	達成	11	施策番号を「11」に変更。 空堀川2カ所、柳瀬川3カ所を月1回調査調査結果は年1回まとめて公表する。	水と緑の環境課
		実施状況	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施				
15	活動団体の支援システムの検討	計画	活動団体・個人の情報収集	活動団体・個人の実態調査・登録制度の検討	実態調査結果をもとに支援策の検討	達成	12	施策番号を「12」に変更。 「活動団体の支援」に変更 団体活動への人的支援や広報活動を支援	水と緑の環境課
		実施状況	活動団体の情報収集実施	ボランティア活動団体の実態調査実施。一覧作成。	支援策の検討				

番号	取組		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
16	管理用水路の緑化と親水性の向上	計画	空堀川緑化再整備工事実施【東京都】	市占用部分の補修及び緑化	同左	達成	13	施策番号を「13」に変更。 水辺環境保全のため、補修及び維持管理の実施	水と緑の環境課
		実施状況	空堀川左岸について、東京都が緑化再整備工事実施	市占用部分の補修、補植等管理の実施	市占用部分の補修、補植等管理の実施				
17	親水スポットの整備	計画	親水公園整備に伴い湧水の活用した湿地帯の調査・検討	検討	整備計画策定	見直し	14	施策番号を「14」に変更。 清瀬橋付近河川敷にせせらぎ公園からの水路を利用した親水公園を東京都が整備を進める。	水と緑の環境課
		実施状況	東京都が湧水調査を開始。平成29年度まで実施され、調査結果がまとまる予定	都の調査により、十分な湧水はないと判明したため、後述の懇談会で「せせらぎ公園からの水路を利用した親水スポット」について検討した。	29年度の湧水調査後、変化がないため、懇談会は未実施。				
18	水辺の親水整備	計画	清瀬橋付近親水公園整備懇談会再開	都の調査結果を受けて、清瀬橋付近親水公園整備懇談会を再開。	「親水スポットの整備」と同調して実施	見直し	15	施策番号を「15」に変更。 清瀬橋付近河川敷にせせらぎ公園からの水路を利用した親水公園について、清瀬橋付近整備懇談会の意見を取り入れ、東京都と連携しながら整備を進める	水と緑の環境課
		実施状況	東京都の調査、基盤整備が遅れており、公園整備懇談会の再開ができなかった	1月、3月に懇談会を開催。過去の答申をベースに都が作成したイメージ案をもとに、親水スポット、園内通路などについて意見交換を行った。	29年度の湧水調査後、変化がないため、懇談会は未実施。				
19	緑化義務の周知	計画	市報・HP等による周知及び啓発年2回以上	同左	同左	達成	16	施策番号を「16」に変更。 ホームページなどによる緑化義務の周知、啓発	水と緑の環境課
		実施状況	市報・HPでの周知と、担当部署窓口周知実施	緑化義務への窓口周知及び啓発実施	6月に、緑化義務に関するHPを作成・公開。				
20	保全・管理計画の方針・計画の策定	計画	管理計画の策定	中里一丁目緑地の管理計画(萌芽更新)策定	—	達成	17	施策番号を「17」に変更。 中里一丁目緑地の管理計画に基づく、萌芽更新の実施(4年計画3年目)	水と緑の環境課
		実施状況	中里一丁目緑地の管理計画(萌芽更新)のための実態調査を実施したが、管理計画の策定までは実施できなかった	管理計画に基づく萌芽更新の実施。4年計画の1年目。	管理計画に基づく萌芽更新の実施。4年計画の2年目。				

番号	取組		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
21	生け垣助成	計画	5件	5件	5件	未達成	18	施策番号を「18」に変更。 5件	水と緑の環境課
		実施状況	0件	1件	3件				
22	特別緑地保全地区等の指定及び公有地化	計画	将来に残すべき雑木林として緑地環境保全区域を特別緑地保全地区への指定検討	平成29年度に中里一丁目緑地の公有地化を実施(公社)	—	達成	19	施策番号を「19」に変更。 緑地の公有地化に向け、上位計画(東京都緑確保の総合的方針)への申請	水と緑の環境課
		実施状況	中里一丁目土地の公有地化を実施(公社)	3月、土地開発公社により、中里一丁目緑地用地1,094㎡を先行取得。	—				
23	市民を対象とした農地の現地見学会	計画	市内又は近隣市の農地見学会の実施(年1回)	市所有のバスが廃車となり、バスでの見学会実施は困難であるため、今後は消費生活センターで地場産物を使った料理講座を行い、市民の地産地消意識と都市農業への理解を深める。	消費生活センターで地場産物を使った料理講座を行い、市民の地産地消意識と都市農業への理解を深める。	達成	20	施策番号を「20」に変更。 取組内容を「市民を対象とした市内農業に親しんでもらう事業の実施」に変更。 地場産野菜等を使用した料理講座の実施や、市民農園の利用者を対象とした園芸講習会を開催していくほか、農地を活用したひまわりフェスティバルの実施。	産業振興課
		実施状況	市内酪農家の牛舎を訪問し搾乳見学会を実施した。	未実施(市所有のバスが廃車となったため)	30年度より市民農園講習会や農業まつりでの園芸相談、地場産野菜を使用した料理講座などを行い農業への理解を深めた				
24	生物多様性の保全に関する情報提供	計画	生物多様性を保全するため、市内の外来生物の情報収集	情報収集した外来種の調査結果を生物多様性地域戦略の中で検討	市報、HP等を通し、外来生物などの情報提供	達成		「生物多様性地域戦略」の策定 に統合	水と緑の環境課
		実施状況	未実施	生物多様性戦略の策定検討を行うとともに、市内の外来生物の被害状況などについても確認した。	収集した外来生物の情報をHP等で提供				
25	公園等における生き物の生息可能な環境の保全	計画	生き物の生息可能な環境を守るため、河川敷や大きな公園の管理作業時、自然保護団体の立会いを実施	同左	同左	達成	21	施策番号を「21」に変更。 生き物の生息環境を守るため、河川敷や大きな公園の管理作業時、自然保護団体の立会いを実施	水と緑の環境課
		実施状況	金山調節池、緑地保全地域、台田水路など貴重な野草、生物が生息する地域において、立ち会いを実施、管理作業を行った。	生き物の生息可能な環境を守るため、河川敷や大きな公園の管理作業時、自然保護団体の立会いを実施	生き物の生息可能な環境を守るため、河川敷や大きな公園の管理作業時、自然保護団体の立会いを実施				

番号	取組		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
26	「生物多様性地域戦略」の策定	計画	生物多様性に関する研究会や見学会に参加し情報収集	「生物多様性戦略」策定のため、研修会等の参加を継続。	生物多様性地域戦略の策定及び公表	達成	22	施策番号を「22」に変更。 清瀬市みどりの基本計画の改定(令和2年度末)に取り入れ策定を進める。	水と緑の環境課
		実施状況	生物多様性に関する研修会に職員が参加し、情報収集を行った。	「生物多様性戦略」策定のため、研修会等の参加を継続。	「生物多様性戦略」策定のため、研修会等への参加を継続。				
27	地域特性を活かしたまちづくりの方向性	計画	東3・4・15の2号線沿線のまちづくりに向けた地区計画検討	地区計画策定策定に向けたアンケート、説明会の実施。	東3・4・15の2号線沿道地区計画策定	達成	23	施策番号を「23」に変更。 年度内は該当事業なし (第2期計画の検討は令和3年度から)	まちづくり課
		実施状況	東3・4・15の2号線沿線のまちづくりに向けた地区計画を検討	地区計画策定に向けたアンケートまちづくり懇談会の実施。	東3・4・15の2号線沿道地区計画(1期)策定				
		計画	都営清瀬野塩アパートの地区計画検討、説明会実施	都営清瀬野塩アパート地区計画策定	計画策定完了				
		実施状況	地区計画検討説明会は平成29年6月に開催した。	都営清瀬野塩アパート地区計画策定	計画策定済				
28	新鮮で安全・安心な野菜販売の促進	計画	農業まつり等のイベントによる周知活動及び直売所マップの配布等を実施	農業まつり等のイベントによる周知活動及び直売所マップの配布等を実施	農業まつり等のイベントによる周知活動及び直売所マップの配布等を実施	達成	24	施策番号を「24」に変更。 料理講座等のイベントで清瀬市産の野菜を使用。 農業まつりやJA収穫祭の他、農家主体のマルシェなど市民に幅広くPRを目指す。	産業振興課
		実施状況	農業まつりで周知活動を行うとともに、市内農業団体から消費生活センター料理講座および健康推進課の事業へ地場産物を提供するなど販売促進につながるPRを行った	農業まつり等のイベントによる周知活動	農業まつりの他に農家主体のマルシェ等の後援やブルーベリー摘み取りマップの配布など販売促進のための周知活動を行った。				
29	地産地消の推進	計画	学校給食納入促進のため出荷調整及び収集場所などについて支援策を検討する。	関係部署と実効性及び裕先生のある支援策を検討する	実効性のある支援策の実施をする	達成	25	施策番号を「25」に変更。 清瀬駅南口方面での地産地消を図ると共に、JAや清瀬直売会と連携を図り、地場農産物の移動販売を行う。また、地場農産物のPR充実を図る。	産業振興課
		実施状況	清瀬市立学校給食における地場産物の活用推進検討委員会へ、委員として参加し検討を行った。	関係部署による収集所の設置と配送を実施。新たに買い物不便地域での直売をJA等の協力により実施。	関係部署による学校給食用地場野菜収集と配送の継続、清瀬直売会等協力による買い物不便地域での直売を2か所で実施。				

番号	取組	平成28年度			平成29年度			平成30年度			達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
		計画	実施状況	計画	実施状況	計画	実施状況	計画	実施状況					
30	市有林や公園などの「植生管理方針」の策定	計画	公共施設のみどりの管理方針策定	管理方針策定のための、みどりの環境保全審議会を実施し、公共施設のみどりの管理方針を策定していく。		—			達成	26	施策番号を「26」に変更。 策定された管理方針に基づく計画的な剪定を実施。	水と緑の環境課		
		実施状況	管理方針策定のための、みどりの環境保全審議会が開催できなかった。	1月、施設を所管する課の職員を委員とした庁内検討会を開き、各管理施設の課題のヒアリングなどを実施。		庁内検討会を3回、みどりの環境保全審議会を現地視察含めて5回開催し、12月に審議会から市長へ答申。								
31	近隣住民による公園の維持管理の取組数	計画	2カ所	3カ所		5ヶ所			未達成	27	施策番号を「27」に変更。 取り組み内容を「地域の特性を生かした公園整備」に変更。 既存の花木を利用した花のある公園整備のための実施設計やワークショップを行う。	水と緑の環境課		
		実施状況	自治会による公園の維持管理は、2ヶ所。新規参加団体はなかった	2カ所		2カ所								
32	柳瀬川回廊事業の推進	計画	柳瀬川回廊事業推進検討委員会設置	設計		整備			達成	28	施策番号を「28」に変更。 柳瀬川回廊の核となる花のある公園整備のための実施設計及び柳瀬川回廊コース整備の検討	水と緑の環境課		
		実施状況	柳瀬川回廊事業検討委員会を立ち上げ、委員会5回開催し、回廊コースなどを見直しを行った。	4回の会議を行い、11月、柳瀬川回廊事業の推進案を市長へ答申。		「花のある公園」整備に先駆け、危険樹木の伐採・伐根。								
33	公園の計画的な再整備	計画	市内公園の配置状況を再確認し、公園の不足地域の実態調査を実施	地域ごとに新規公園の設置の可能性を検討		新規公園設置の難しい地域は既存公園の再整備計画を検討			達成	29	施策番号を「29」に変更。 既設公園配置図を基に、公園不足区域を抽出。不足区域の状況確認。	水と緑の環境課		
		実施状況	公園不足地域の調査開始	市内公園の配置状況を図面化。不足地域の確認。		野塩4丁目地域に新規公園を整備								
34	市民の生活環境に対する意識の向上	計画	市報・市HP等で情報提供年1回以上	同左		同左			達成	30	施策番号を「30」に変更。 市報・市HP等による情報提供年1回以上	水と緑の環境課		
		実施状況	外来種や飼い主のいない猫、野焼きなど、身近なテーマで定期的に情報発信を行っている。	外来種や飼い主のいない猫、野焼きなど、身近なテーマで定期的に情報発信を行っている。		外来種や飼い主のいない猫、野焼きなど、身近なテーマで定期的に情報発信を行っている。								

番号	取組		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
35	大気、騒音、振動等の定期的調査	計画	定期測定と公表の実施 市報・HP等で年1回公表	同左	同左	達成	31	施策番号を「31」に変更。 定期観測と公表の実施、市報・HP等で年1回公表	水と緑の環境課
		実施状況	予定どおり実施。調査結果を「環境調査の概要」としてまとめ、市HPで公開	予定どおり実施。調査結果を「環境調査の概要」としてまとめ、市HPで公開。	予定どおり実施。調査結果を「環境調査の概要」としてまとめ、市HPで公開。				
36	法律や条令等に基づいた規制・指導	計画	個別調査及び事業者への指導	同左	同左	達成	32	施策番号を「32」に変更。 個別調査及び事業者への指導	水と緑の環境課
		実施状況	事業所等が原因となる苦情について、個別に事業者等への指導・依頼により対応している。	事業所等が原因となる苦情について、個別に事業者等への指導・依頼により対応している。	事業所等が原因となる苦情について、個別に事業者等への指導・依頼により対応している。				
37	市民、事業者に自動車の効率的な利用等	計画	ノーカーデーやカーシェアリング等環境負荷を軽減する仕組みの導入について調査・研究	市民、事業者への実施に先行して、清瀬市役所内でノーカーデーを実施できるかについて検討する。	—	見直し	33	施策番号を「33」に変更。 取組内容を「市民、事業者に自動車から公共交通機関、徒歩や自転車への移動手段の転換を促進」に変更	水と緑の環境課
		実施状況	他市の事例等を中心に情報収集を実施	ノーカーデーの実施について検討を行ったが、現状での実施は難しいとの結論となった。	—				
38	化学物質の適正な管理の規制・指導	計画	毎年、定期的に適正化学物質の使用量等を報告 より安全な化学物質への転換や排出量の削減等の指導	同左	同左	達成	34	施策番号を「34」に変更。 毎年、定期的に適正化学物質の使用量等を報告 より安全な化学物質への転換や排出量の削減等の指導	水と緑の環境課
		実施状況	予定どおり実施	予定どおり実施	予定どおり実施				
39	柳瀬川右岸第8-1排水区の整備面積率(整備面積:115ha)	計画	中里五・六丁目地内～旭ヶ丘一丁目地内0%(施行開始)	中里五・六丁目地内～旭ヶ丘一丁目地内0%(施行中)	枝線整備、幹線接続40%(46ha)	達成	35	施策番号を「35」に変更。 雨水幹線実施設計	下水道課
		実施状況	予定どおり実施	幹線整備24%(28ha)	幹線整備40%(46ha)				

番号	取組		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
40	都市計画道路施行による取組	計画	事業中である都施行路線の沿道環境の協議及び要望	事業中である都施行路線の沿道環境の協議及び要望	事業中である都施行路線の沿道環境の協議及び要望	達成	36	施策番号を「36」に変更。 協議及び要望の実施	まちづくり課
		実施状況	未実施	事業中である都施行路線の沿道環境の協議及び要望	事業中である都施行路線の沿道環境の協議及び要望				
41	公共施設建設事業による取組	計画	新庁舎建設において周辺環境との調和を検討	新庁舎建設において周辺環境との調和を検討	新庁舎建設において環境に配慮した緑豊かな外部空間を創造する	達成	37	施策番号を「37」に変更。 周辺環境へ配慮をしながら、新庁舎建設工事を開始する。	新庁舎建設室
		実施状況	基本設計において、周辺環境に配慮して建物高さを抑え、緑豊かな”清瀬らしさ”を創出するため、緑地ひろばを敷地内に計画した	基本設計において、周辺環境に配慮して建物高さを抑え、緑豊かな”清瀬らしさ”を創出するため、緑地ひろばを敷地内に計画した。	基本設計に基づき、実施設計において、周辺環境に配慮した建物高さの抑制、敷地内の緑地整備を計画した。				
42	地域の美化活動の推進	計画	廃棄物減量等推進委員の活動体制の見直し	アドプトシステムの取組支援	市内一斉清掃の活動内容の検討	達成	38	施策番号を「38」に変更。 アドプトシステムへの取組支援の継続 市内一斉清掃の取組継続	ごみ減量推進課
		実施状況	廃棄物減量等推進員連絡会で、各地域におけるごみ出しマナーや減量等の監視活動状況報告を求めた	アドプト制度協力団体(10団体)が市内5箇所にて清掃活動実施。清掃用具の調達、特定分煙強化地区路面シール(2箇所)張替を行った。	一斉清掃専用袋のサイズ変更を実施。一斉清掃開始セレモニーを休止し、臨時集積所の一部撤去を実施した。				
43	放置自転車の解消	計画	特に駅周辺の道路上(歩道含む)にある自転車等に対し注意喚起をするとともに、悪質な放置自転車等を保管場所へ移送	特に駅周辺の道路上(歩道含む)にある自転車等に対し注意喚起をするとともに、悪質な放置自転車等を保管場所へ移送	特に駅周辺の道路上(歩道含む)にある自転車等に対し注意喚起をするとともに、悪質な放置自転車等を保管場所へ移送	達成	39	施策番号を「39」に変更。 特に駅周辺の道路上(歩道含む)にある自転車等に対し注意喚起をするとともに、悪質な放置自転車等を保管場所へ移送	道路交通課
		実施状況	放置禁止区域を中心に定期的に自転車の移送を行った。	特に駅周辺の道路上(歩道含む)にある自転車等に対し注意喚起をするとともに、悪質な放置自転車等を保管場所へ移送	特に駅周辺の道路上(歩道含む)にある自転車等に対し注意喚起をするとともに、悪質な放置自転車等を保管場所へ移送				
44	工事に伴う公害防止の推進	計画	市道4034号線補修工事	平成29年度市道0104号線舗装補修工事 平成30年度市道0106号線舗装補修工事	—	達成	40	施策番号を「40」に変更。 市道0103号線舗装打換工事	道路交通課
		実施状況	排出ガス対策型建設機械を使用する事により公害防止に努めた	市道0104号線舗装補修工事	市道0106号線舗装補修工事				

番号	取組		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
45	自転車及安全に移動しやすい環境整備	計画	「自転車ナビライン」の設置やマナーを促す「看板」等の設置を進め、自転車と歩行者が共存できる走行空間の確保に努める	「自転車ナビライン」の設置やマナーを促す「看板」等の設置を進め、自転車と歩行者が共存できる走行空間の確保に努める	「自転車ナビライン」の設置やマナーを促す「看板」等の設置を進め、自転車と歩行者が共存できる走行空間の確保に努める	達成	41	施策番号を「41」に変更。 「自転車ナビライン」の設置やマナーを促す「看板」等の設置を進め、自転車と歩行者が共存できる走行空間の確保に努める	道路交通課
		実施状況	けやき通りにおいて自転車ナビマークの設置を行った	「自転車ナビライン」の設置やマナーを促す「看板」等の設置を進め、自転車と歩行者が共存できる走行空間の確保に努める	「自転車ナビライン」の設置やマナーを促す「看板」等を設置し、自転車と歩行者が共存できる走行空間の確保に努めた。				
46	路線・便数の調査・検討	計画	2ルート・365日・24便運行・乗降調査・事業検証	市民アンケート	アンケート結果によるあり方検討	達成	42	施策番号を「42」に変更。 取組内容を「コミュニティバス「きよバス」の運行体制等を検討する」に変更。 2ルート・365日・24便運行・乗降調査・事業検証・運賃改定・電子マネー導入	道路交通課
		実施状況	乗客300名を対象に利用者アンケートを行い、要望のあった項目を地域公共交通会議で諮問した	満18歳以上の市民1,000人にアンケートを実施	アンケート結果によるあり方検討				
47	歩道のバリアフリー化	計画	市道0115号線実施設計	市道0115号線道路整備工事Ⅰ期工事	市道0115号線道路整備工事Ⅱ期工事	達成	43	施策番号を「43」に変更。 市道0210号線道路詳細設計	道路交通課
		実施状況	市道0115号線実施計画において歩道のバリアフリーを取り入れた設計を行った	市道0115号線道路整備工事Ⅰ期工事	市道0115号線道路整備工事Ⅱ期工事				
48	自主防災組織の拡充	計画	自主防災組織(12団体)	自主防災組織(15団体)	自主防災組織(18団体)	未達成	44	施策番号を「44」に変更。 自主防災組織(21団体)	防災防犯課
		実施状況	自主防災組織(12団体)	自主防災組織(13団体)	自主防災組織(17団体)				
49	災害用マンホールの整備	計画	3校 15基設置等(計6校)	3校(計9校)	3校(計12校)	達成	45	施策番号を「45」に変更。 1校(計13校 全小中学校完了予定)	防災防犯課
		実施状況	3校 15基設置等(計6校)	3校(計9校)	3校(計12校)				

番号	取組		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成状況	(新)番号	(新計画期間)令和元年度計画内容	担当課
50	防災拠点の防災性の向上	計画	災害用食糧備蓄完了 (9万食、9万ℓの水の確保)	災害用食糧備蓄の更新 (9万食、9万ℓの水の確保)	災害用食糧備蓄の更新 (9万食、9万ℓの水の確保)	達成	46	施策番号を「46」に変更。 災害用食糧備蓄の更新 (9万食、9万ℓの水の確保)	防災防犯課
		実施状況	災害用食糧備蓄完了 (9万食、9万ℓの水)	災害用食糧備蓄の更新 (9万食、9万ℓの水を確保)	災害用食糧備蓄の更新 (9万食、9万ℓの水を確保)				
51	5R講座の開催	計画	出前講座の開催(自治会等との連携)	ごみ処理施設見学会の支援 (三多摩一つなり交流事業)	5Rに関する取り組みやアイデアを募集し発表	達成	47	施策番号を「47」に変更。 ごみ処理施設見学会(三多摩は一つなり交流事業(親子見学会)) 出前講座開催による地域住民への周知啓発	ごみ減量推進課
		実施状況	出前講座依頼実績は無かったが、市内各所で地域住民に対しごみ減量・資源化の説明を実施した	三多摩は一つなり交流事業(10/3実施)出前講座(5/15実施)において、ごみの減量・資源化の周知啓発を行った。	三多摩は一つなり交流事業(親子見学会7/23実施)外国人向けの出前講座を実施。				
52	外部人材団体、施設等の活用・連携の推進	計画	小学校社会科副読本「私たちのくらしとごみ」に基づく社会科見学(柳泉園やリサイクルセンターへの訪問)	小学校社会科副読本「私たちのくらしとごみ」に基づく社会科見学(柳泉園やリサイクルセンターへの訪問)	小学校社会科副読本「私たちのくらしとごみ」に基づく社会科見学(柳泉園やリサイクルセンターへの訪問)	達成	48	施策番号を「48」に変更。 小学校第4学年社会科学習内容に基づく社会科見学(柳泉園やリサイクルセンターへの訪問)	指導課
		実施状況	計画どおり実施	計画どおり実施	計画どおり実施				
53	小中学校における環境教育活動	計画	小学校:社会科副読本「私たちの清瀬」に基づく学習 中学校:社会科や理科を中心とした教科書に基づく学習	小学校:社会科副読本「私たちの清瀬」に基づく学習 中学校:社会科や理科を中心とした教科書に基づく学習	小学校:社会科副読本「私たちの清瀬」に基づく学習 中学校:社会科や理科を中心とした教科書に基づく学習	達成	49	施策番号を「49」に変更。 各教科・領域等において実施	指導課
		実施状況	計画どおり実施	計画どおり実施	計画どおり実施				
54	次世代を担う人材の育成	計画	環境リーダー講習会の開始に向けての調査・研究	同左	環境リーダー講習会の実施 年1回開催	見直し	50	施策番号を「50」に変更。 取り組み内容を「環境学習の推進」に変更。 「きよせの環境・川まつり」などのイベントでの協力体制の拡充。	水と緑の環境課
		実施状況	他市の事例等を中心に情報収集を実施	未実施	未実施				

